

医療や介護が必要になっても 住み慣れた地域で 自分らしく過ごすために



在宅医療・介護連携サポートセンター ☎(581)0340 ☎(581)0203

在宅医療・在宅看取り講演会

日時 11月30日(土)
午後1時30分～3時30分

場所 市民ホール 小ホール

テーマ 自宅で大往生“いい人生だった”と言うために

講師 中村 伸一さん(医師)

内容 “医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で、誰もがその人らしい生き方や人生の最終段階をどう迎えるのか、自分と家族が納得できる看取りとはなにか”について考えます。

申込不要
参加費
無料



福井県おおい町名田庄の総合医として地域医療を支えている中村 伸一医師

病気になっても認知症になっても 安心して自宅で過ごす体制づくり

「住み慣れた自宅で最期まで過ごしたい」という願いを実現するために、在宅医療・介護連携サポートセンターを
訪問などにより、切れ目のない支援を
目指しています。病院の医師、看護師
とともに、地域の開業医、訪問看護師、
ケアマネジャー、介護サービス担当者
などと連携し、安心して療養できる体
制づくりに努めています。

在宅介護のさまざまな 相談に応じています

療養生活などに関して困りごとなどがあ
れば、お気軽にご相談ください。
専門の相談員が随時相談に応じ、関係機関と連携
を図りながら、必要時は自宅に訪問するなど、安心
して自宅での療養ができるように支援しています。



在宅療養の相談例

- ・「退院後にサービスを使いたいけれど、どのようにしたらいいの」
- ・「ケアマネジャーを決めるにはどうしたらいいの」
- ・「訪問診療、往診をしてくれる医師はいるの」
- ・「訪問看護を利用したい」
- ・「自宅で看取りたいと思っているけれど、できるかどうか不安」
- ・「介護者が働きながらでも介護ができるの」



第3回看取りケア研修会

関係者のネットワーク作り

医療・介護・福祉・地域などさまざまな人が集まり、それぞれの役割について話し合う「守山顔の見える会」や「介護支援専門員研究会」、「看取りケア研究会」などを開催し、顔の見える関係づくりをするなかで、市内の在宅療養を支えるためのネットワークづくりの強化を図っています。

エンディングノートを書いてみよう



「いつ訪れるかわからない『もしもの時』のために、元気なうちから、今まで自分が大切にしてきたこと、これから大切にしていきたいことなど自分の希望や思いを、家族や大切な人へ伝えておくことが大切です。」

医療や介護サービスを利用していただく場合は、あなたの療養を支える関係者にもその思いを共有しておくことで、自分の望む医療やケアを受けられることができます。最近では、自分が望む医療やケアにつ

いて、前もって考え、医療・介護関係者などへ繰り返し何度も話し合っておくことで、共有する取り組みをAC（アドバンス・ケア・プランニング）と呼んでいます。「延命治療をどのようにするか」「最期をどのように過ごしたいか」など、家族や大切な人と話し合っておきましょう。

市では、家族や大切な人へ自分の希望や思いを伝えるためのノートとして、守山市版エンディングノートを無料で配布しています。

配布場所 すこやかセンター、南部地区地域包括支援センター、北部地区地域包括支援センター、市役所、各会館、市立図書館、駅前総合案内所、済生会守山市民病院、県立総合病院など

守山市地域医療介護マップを作成しました

市内の医療機関、歯科医院、薬局、介護サービス事業所などの情報をまとめました。ホームページからダウンロードもできます。ぜひ役立ててください。



ホームページ

配布場所 在宅医療・介護連携サポートセンター
南部地区地域包括支援センター
北部地区地域包括支援センター



マップの中身

出前講座を行っています

介護予防、健康づくり、介護保険、在宅看取り、延命治療、またエンディングノートなどの出前講座を市内の自治会館、公民館などで実施しています。

老人クラブ、サークル、ボランティアグループなどの小単位でも出向きます。

☎医師、歯科医師、薬剤師、ケアマネジャー、保健師
☎在宅医療・介護連携サポートセンター、地域包括支援センター(☎(581)0330)へ申し込み。

